

7. 空き家及び防犯・交通安全に関する意識について

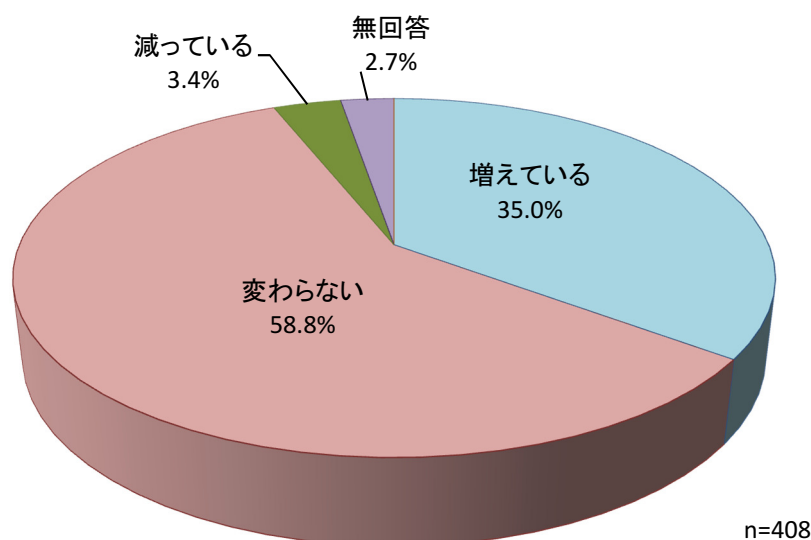
(1) 管理が不十分な空き家が増えていると感じるか

◇ 「変わらない」が約6割

問 2 9 あなたの住まいの近所で、建物の一部が敷地外に崩れ落ちたり、生い茂った草木が隣地にはみ出したりするなど、管理が不十分な空き家が増えていると感じますか (○は1つ)

		n=408
1	増えている	35.0%
2	変わらない	58.8%
3	減っている	3.4%
	(無回答)	2.7%

<図IV-7-1>全体



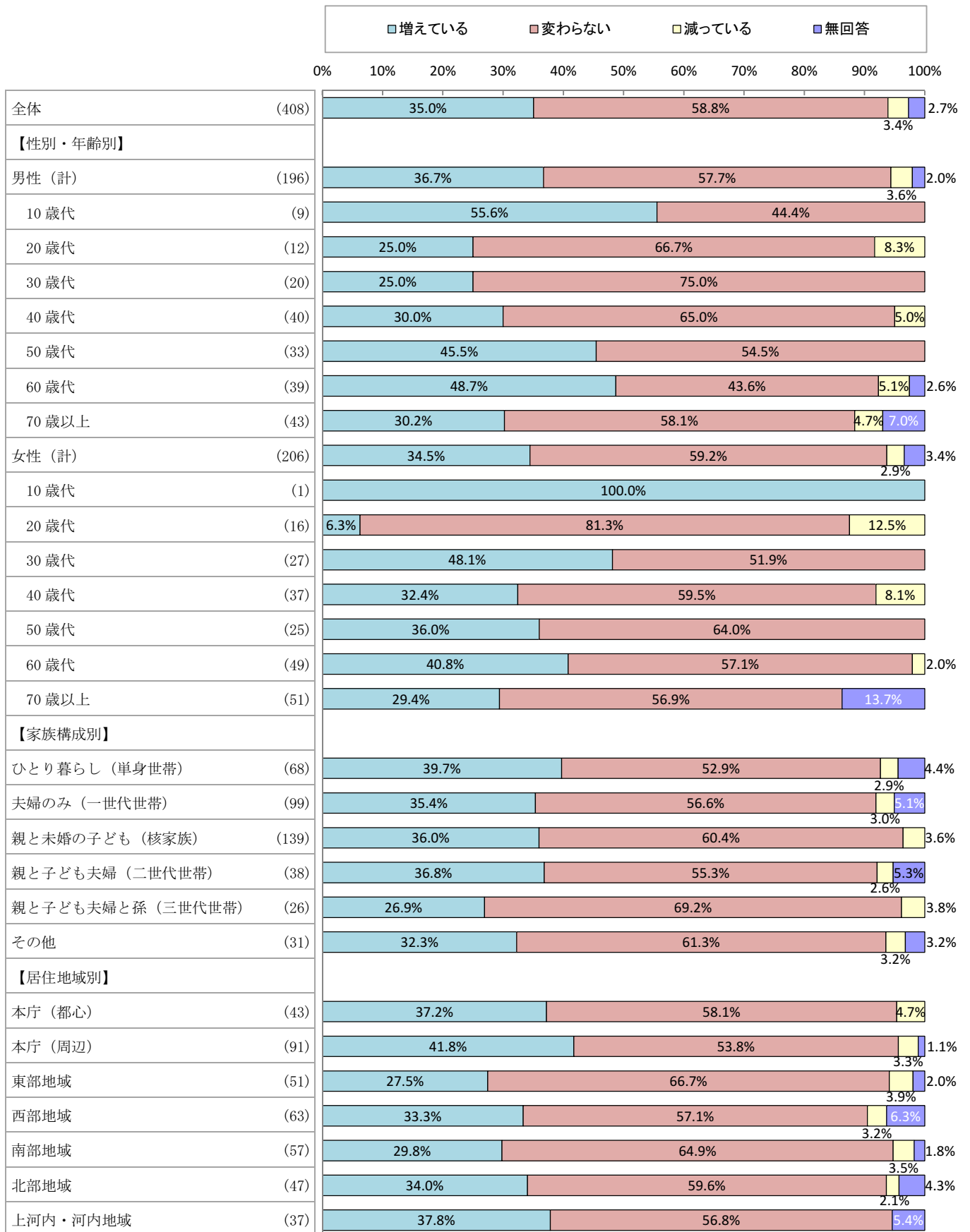
管理が不十分な空き家が増えていると感じるかについては、「変わらない」が 58.8%と最も高く、「増えている」が 35.0%、「減っている」が 3.4%であった。(図IV-7-1)

性別・年齢別でみると、「変わらない」は<女性/20歳代>が 81.3%で最も高く、次いで<男性/30歳代>が 75.0%であった。「増えている」は<女性/10歳代>が 100.0%で最も高く、次いで<男性/10歳代>が 55.6%であった。(図IV-7-2)

家族構成別でみると、「変わらない」は<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が 69.2%で最も高かった。「増えている」は<ひとり暮らし(単身世帯)>が 39.7%で最も高かった。(図IV-7-2)

居住地域別でみると、「変わらない」は<東部地域>が 66.7%で最も高かった。「増えている」は<本庁(周辺)>が 41.8%で最も高かった。(図IV-7-2)

<図IV-7-2>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

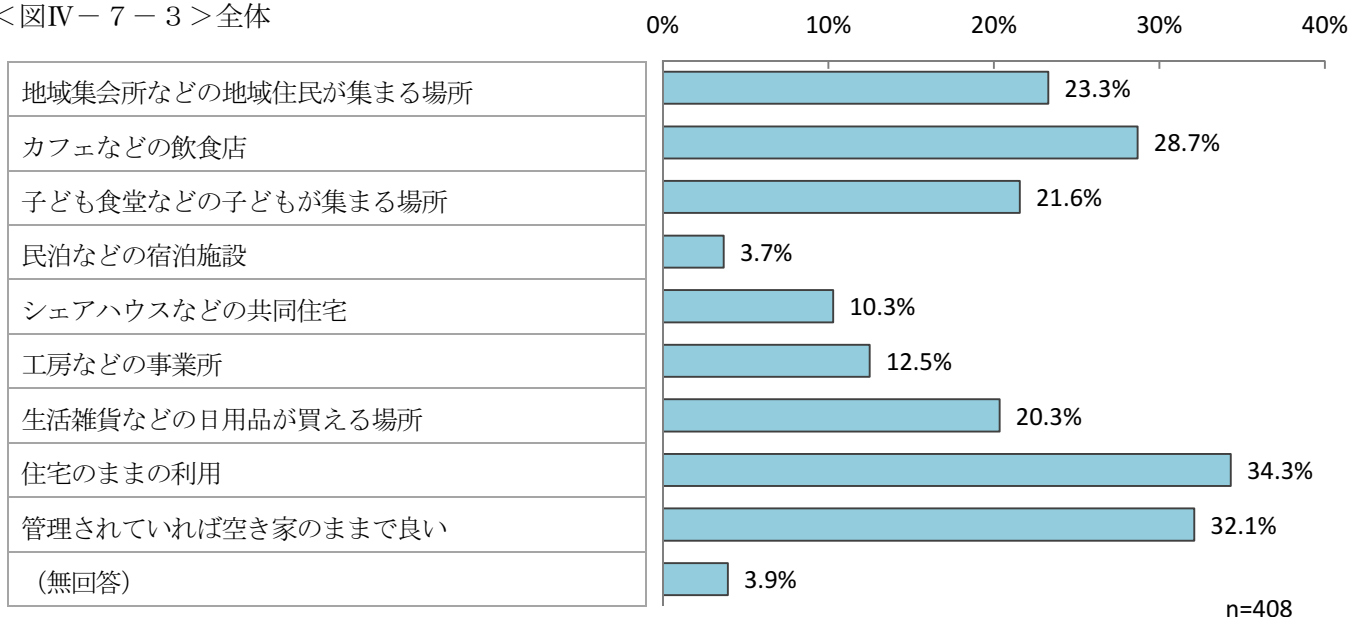


(2) 近所の空き家の活用方法

◇ 「住宅のままの利用」が3割半ば

問30	近所の空き家が、どのように活用されると良いと思いますか。	(○はいくつでも)
		n=408
1	地域集会所などの地域住民が集まる場所	23.3%
2	カフェなどの飲食店	28.7%
3	子ども食堂などの子どもが集まる場所	21.6%
4	民泊などの宿泊施設	3.7%
5	シェアハウスなどの共同住宅	10.3%
6	工房などの事業所	12.5%
7	生活雑貨などの日用品が買える場所	20.3%
8	住宅のままの利用	34.3%
9	管理されていれば空き家のままで良い (無回答)	32.1% 3.9%

<図IV-7-3>全体



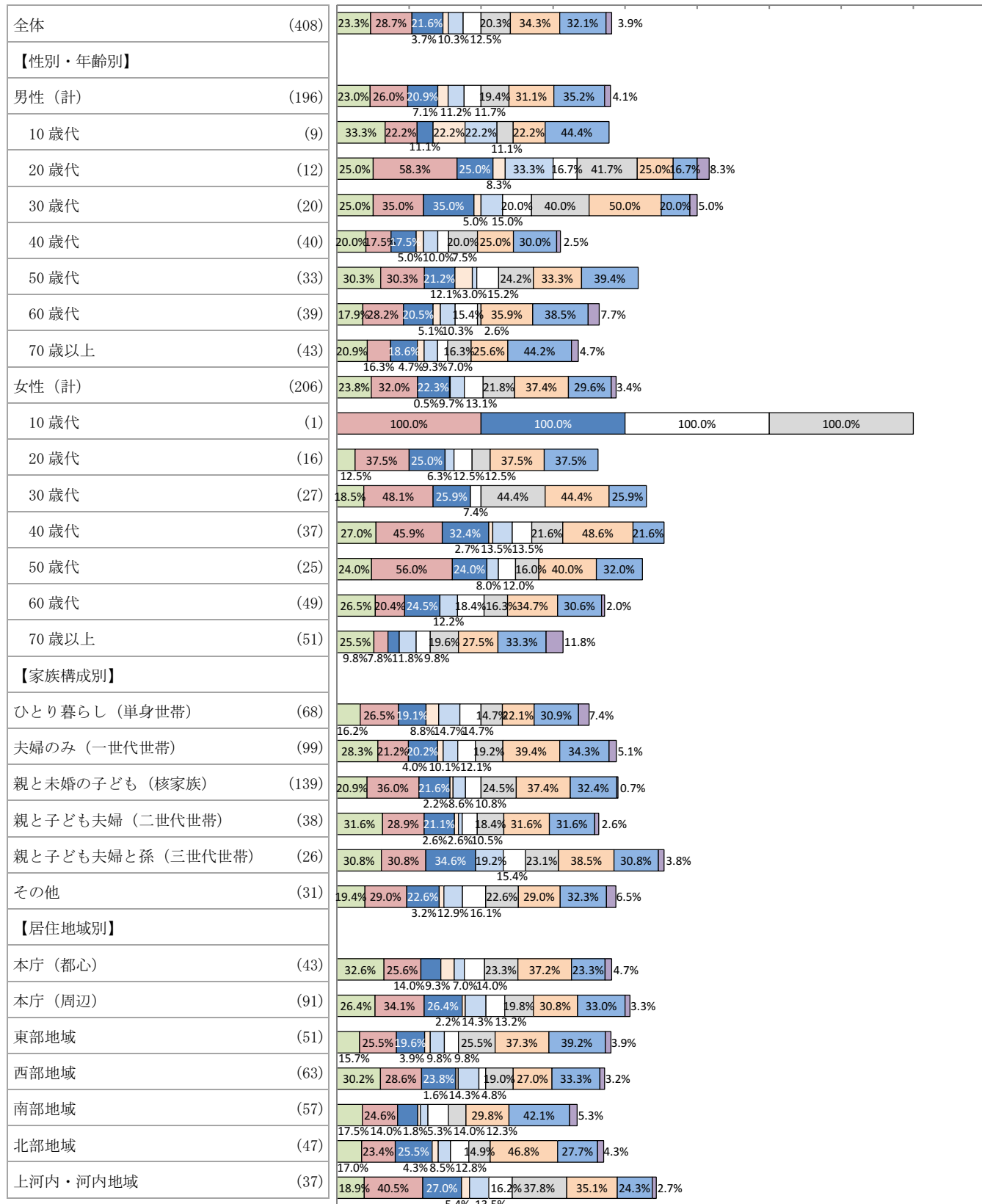
近所の空き家の活用方法については、「住宅のままの利用」が34.3%で最も高く、次いで「管理されていれば空き家のままで良い」が32.1%、「カフェなどの飲食店」が28.7%と続いている。(図IV-7-3)

性別・年齢別でみると、「住宅のままの利用」は<男性/30歳代>が50.0%で最も高く、次いで<女性/40歳代>が48.6%と続いている。「管理されていれば空き家のままで良い」は<男性/10歳代>が44.4%で最も高く、次いで<男性/70歳以上>が44.2%であった。(図IV-7-4)

家族構成別でみると、「住宅のままの利用」は<夫婦のみ(一世代世帯)>が39.4%で最も高かった。「管理されていれば空き家のままで良い」も<夫婦のみ(一世代世帯)>が34.3%で最も高かった。(図IV-7-4)

居住地域別でみると、「住宅のままの利用」は<北部地域>が46.8%で最も高かった。「管理されていれば空き家のままで良い」は<南部地域>が42.1%で最も高かった。(図IV-7-4)

<図IV-7-4>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

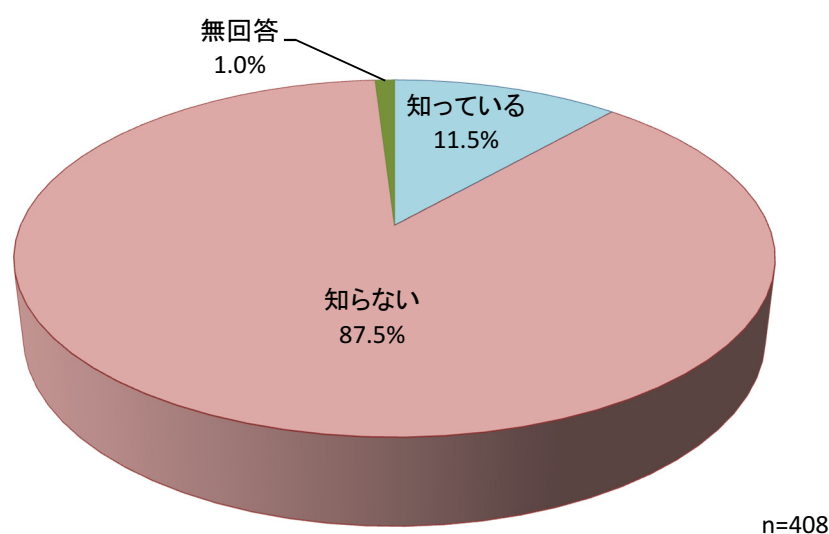


(3)「宇都宮空き家会議」の認知度

◇「知らない」が9割弱

問3 1	空き家の所有者と利用希望者をマッチングする事業や空き家を活用して地域集会所の整備支援などに取り組んでいる官民連携組織「宇都宮空き家会議」を知っていますか。(○は1つ)	n=408
1	知っている	11.5%
2	知らない	87.5%
	(無回答)	1.0%

<図IV-7-5>全体



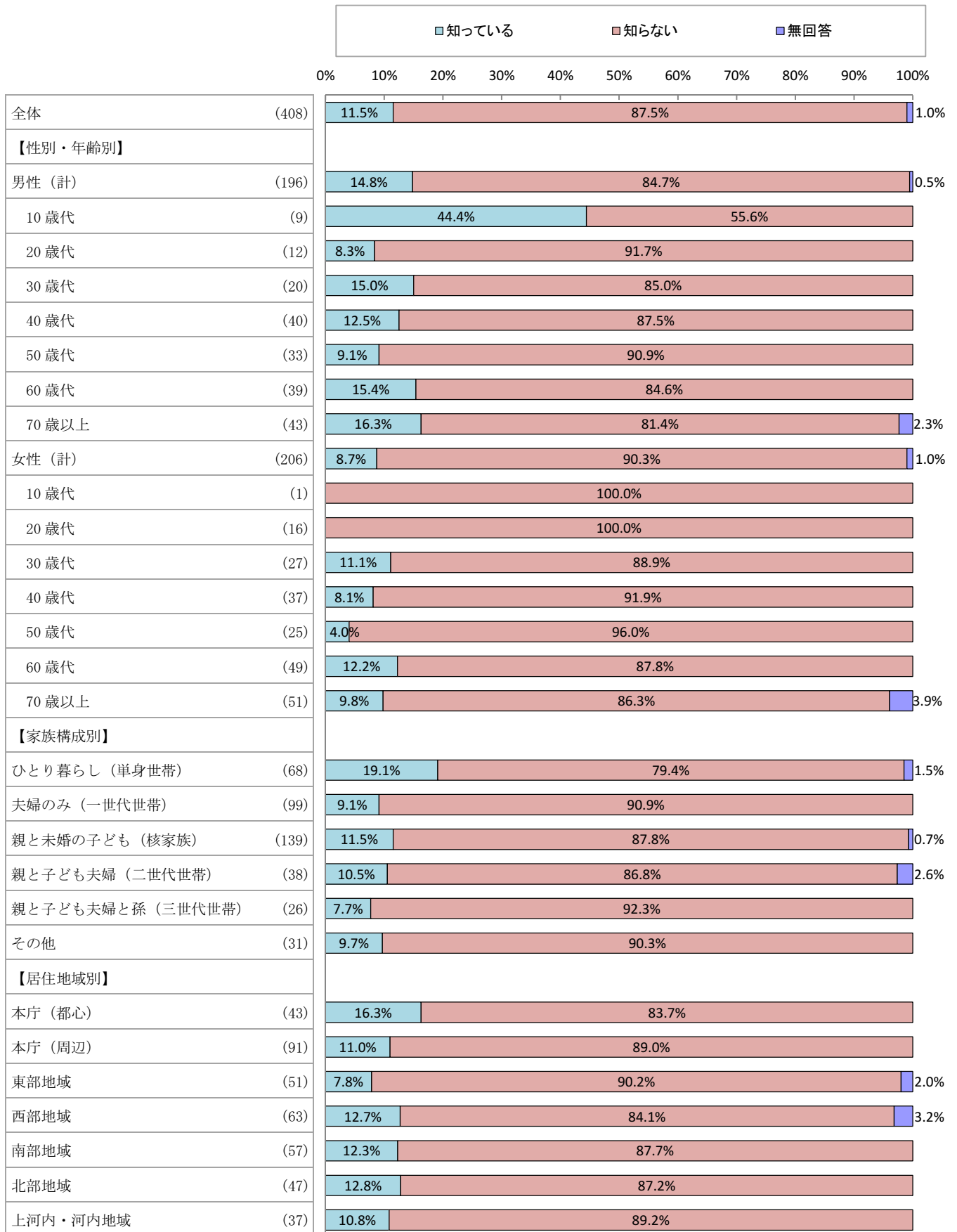
官民連携組織「宇都宮空き家会議」を知っているかについては、「知らない」が 87.5%、「知っている」が 11.5%であった。(図IV-7-5)

性別・年齢別でみると、「知らない」は<女性/10歳代><女性/20歳代>が 100.0%で最も高く、次いで<女性/50歳代>が 96.0%であった。「知っている」は<男性/10歳代>が 44.4%で最も高く、次いで<男性/70歳以上>が 16.3%であった。(図IV-7-6)

家族構成別でみると、「知らない」は<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が 92.3%で最も高かった。「知っている」は<ひとり暮らし(単身世帯)>が 19.1%で最も高かった。(図IV-7-6)

居住地域別でみると、「知らない」は<東部地域>が 90.2%で最も高かった。「知っている」は<本庁(都心)>が 16.3%で最も高かった。(図IV-7-6)

<図IV-7-6>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

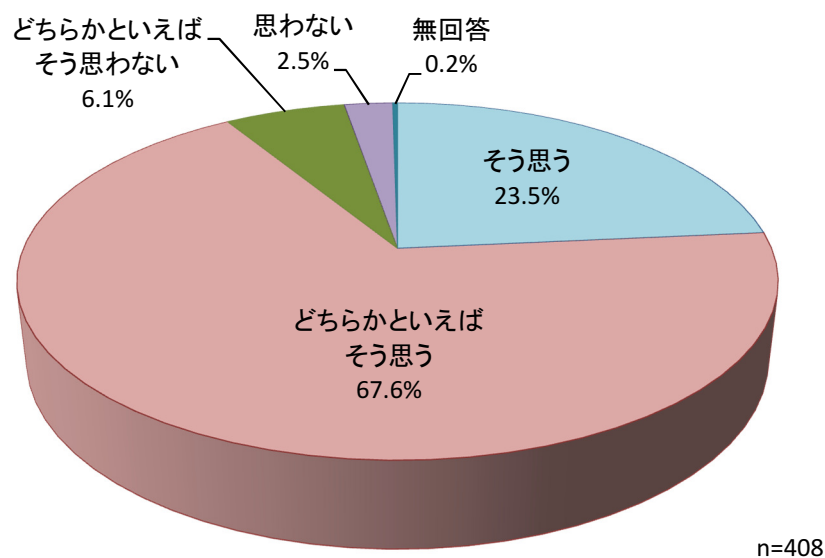


(4) 安心して暮らすことができていると思うか

◇ 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う(計)】が約9割

問3 2	宇都宮市では、犯罪のない安全で安心なまちづくりを目指した取組を推進していますが、あなたは普段、宇都宮市で生活する中で、安心して暮らすことができていると思いますか。(〇は1つ)	n=408
1	そう思う	23.5%
2	どちらかといえばそう思う	67.6%
3	どちらかといえばそう思わない	6.1%
4	思わない	2.5%
	(無回答)	0.2%

<図IV-7-7>全体



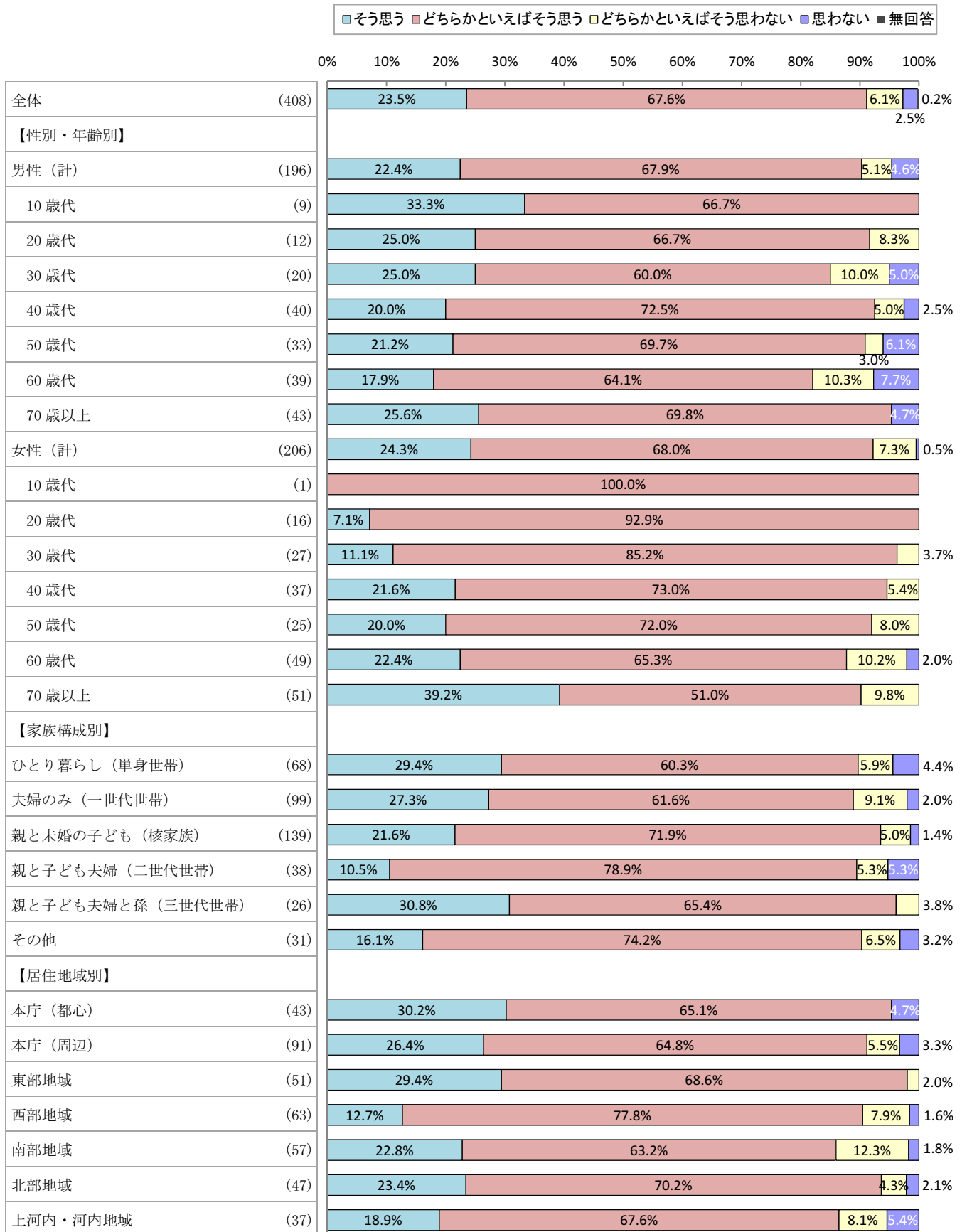
安心して暮らすことができていると思うかについては、「そう思う」が 23.5%、「どちらかといえばそう思う」が 67.6%で、これらを合わせた【そう思う(計)】は 91.1%であった。一方、「どちらかといえばそう思わない」が 6.1%で、「思わない」の 2.5%と合わせた【そう思わない(計)】は 8.6%であった。(図IV-7-7)

性別・年齢別でみると、【そう思う(計)】は<男性/10歳代><女性/10歳代><女性/20歳代>が 100.0%で最も高く、次いで<女性/30歳代>が 96.3%であった。【そう思わない(計)】は<男性/60歳代>が 18.0%で最も高く、次いで<男性/30歳代>が 15.0%であった。(図IV-7-8)

家族構成別でみると、【そう思う(計)】は<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が 96.2%で最も高かった。【そう思わない(計)】は<夫婦のみ(一世代世帯)>が 11.1%で最も高かった。(図IV-7-8)

居住地域別でみると、【そう思う(計)】は<東部地域>が 98.0%で最も高かった。【そう思わない(計)】は<南部地域>が 14.1%で最も高かった。(図IV-7-8)

<図IV-7-8>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

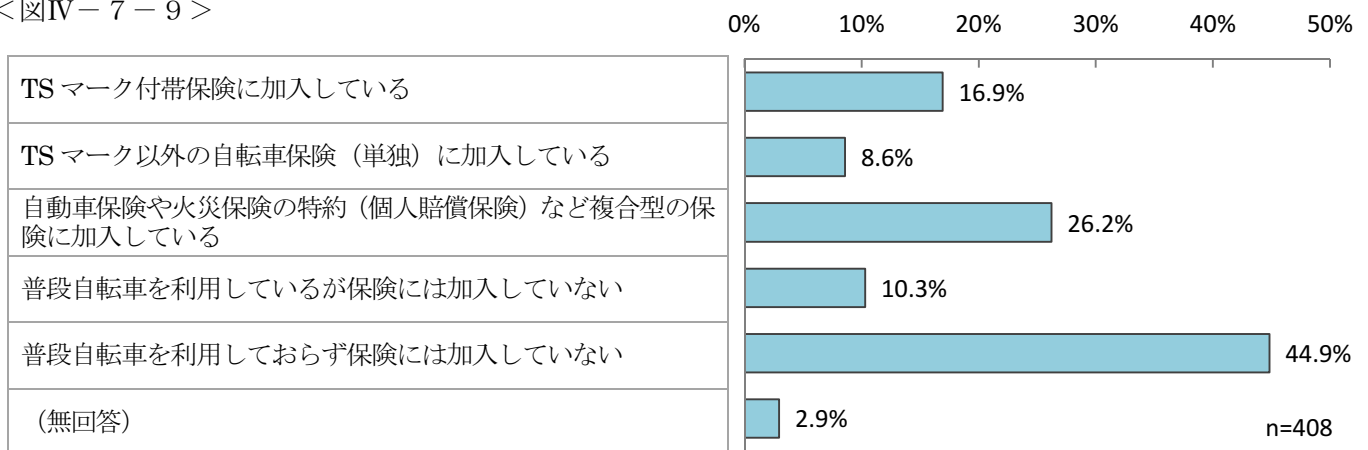


(5) 自転車保険の加入状況

◇ 「普段自転車を利用しておらず保険には加入していない」が4割半ば

問33	宇都宮市では、「交通事故のない社会」を目指し、総合的な交通安全対策を推進していますが、あなたは、自転車乗用中に事故を起こしたとき、相手のけがの治療費などを補償する保険（自転車保険）に加入していますか。 (〇はいくつでも)	n=408
1	TSマーク付帯保険に加入している	16.9%
2	TSマーク以外の自転車保険（単独）に加入している	8.6%
3	自動車保険や火災保険の特約（個人賠償保険）など複合型の保険に加入している	26.2%
4	普段自転車を利用しているが保険には加入していない	10.3%
5	普段自転車を利用しておらず保険には加入していない	44.9%
9	（無回答）	2.9%

<図IV-7-9>



自転車保険に加入しているかについては、「普段自転車を利用しておらず保険には加入していない」が44.9%で最も高く、次いで「自動車保険や火災保険の特約（個人賠償保険）など複合型の保険に加入している」が26.2%、「TSマーク付帯保険に加入している」が16.9%と続いている。（図IV-7-9）

性別・年齢別でみると、「普段自転車を利用しておらず保険には加入していない」は<男性/60歳代>が51.3%で最も高く、次いで<女性/60歳代><女性/70歳以上>が51.0%と続いている。「自動車保険や火災保険の特約（個人賠償保険）など複合型の保険に加入している」は<女性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<男性/50歳代>が45.5%であった。（図IV-7-10）

家族構成別でみると、「普段自転車を利用しておらず保険には加入していない」はその他を除くと、<親と子ども夫婦と孫（三世代世帯）>が53.8%で最も高かった。「自動車保険や火災保険の特約（個人賠償保険）など複合型の保険に加入している」は<親と未婚の子ども（核家族）>が32.4%で最も高かった。（図IV-7-10）

居住地域別でみると、「普段自転車を利用しておらず保険には加入していない」は<東部地域>が54.9%で最も高かった。「自動車保険や火災保険の特約（個人賠償保険）など複合型の保険に加入している」は<南部地域>が40.4%で最も高かった。（図IV-7-10）

<図IV-7-10>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

